

じゃんぷ!

令和3年3月5日
岐阜市立岐阜東幼稚園
なつめ組 No.36



進級作品作りに取り掛かりました。顔を平面だけでなく、立体的に捉えられるようになったので紙粘土を使って顔を作っています。「自分の顔って、どんな顔？」と問いかけると、顔を触ったり鏡で見ながら、「ほっぺたが膨らんでる!」「こんなところにほくろがある!」など改めて発見することもあります。

「あぁ、はやくたいようさんになりたいな。」という言葉が増え、進級することに喜びを感じているなつめさんです



最近では、自分たちでドッジボールのコートを描いたりボールを準備して遊び始める子供たち。

そんな中、転んでいる最中にボールを当てられてしまったAさんの姿がありました。すると同じチームの子が、「今転んでいたから、当たったの無しにしない?」と相手チームに話しかけます。「確かに、転んでるときに逃げられないもんね。」とみんなが納得し、新しいルールが出来上がりました。友達と一緒に遊ぶ中で、自分の考えを話したり聞いたりしながら遊びを創る力が育まれています。



いよいよ来週の12日は、なつめ組の生活楽しみですね! 1月から遊んでいたお話ごっこ(ペープサート)を生かし、楽しみ会での劇でも登場することにしました。子供たちの普段の遊びが自然と劇へとつながっていきました。演目は“おおきなかぶ”をやります。子供たちに馴染みのあるお話なので、台詞を覚えている子もいます。ペープサートに、劇、踊りに、楽器演奏と盛りだくさんの内容をなっています。また、私からはなつめ組の素敵な1年間を写真と共に振り返る映像を用意させていただきました。お楽しみに!

前回の通信にて、子供たちにいろいろな“ドキドキ”があることをお話させていただきました。きっと当日は、大好きなお家の人を前にして、嬉しくて気持ちが昂ったり、恥ずかしくてふざけてしまったりするなど、いろいろな姿が見られると思います。でも子供たちの心は、“お家の人に自分たちの素敵なところを見せたい”一心で励んできました。どうぞ、温かい心で見えていただけると幸いです。

